

2016年度上期決算実績と 中期経営計画進捗状況

2016年11月21日



日鉄住金物産株式会社
NIPPON STEEL & SUMIKIN BUSSAN CORPORATION

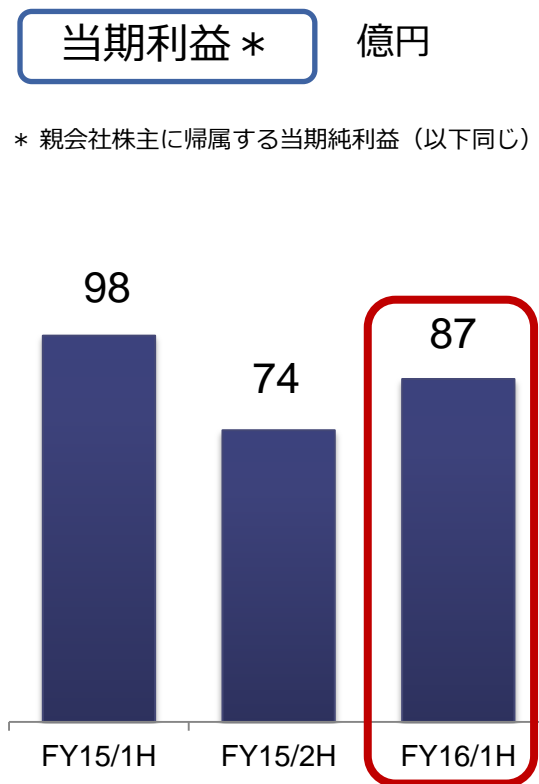
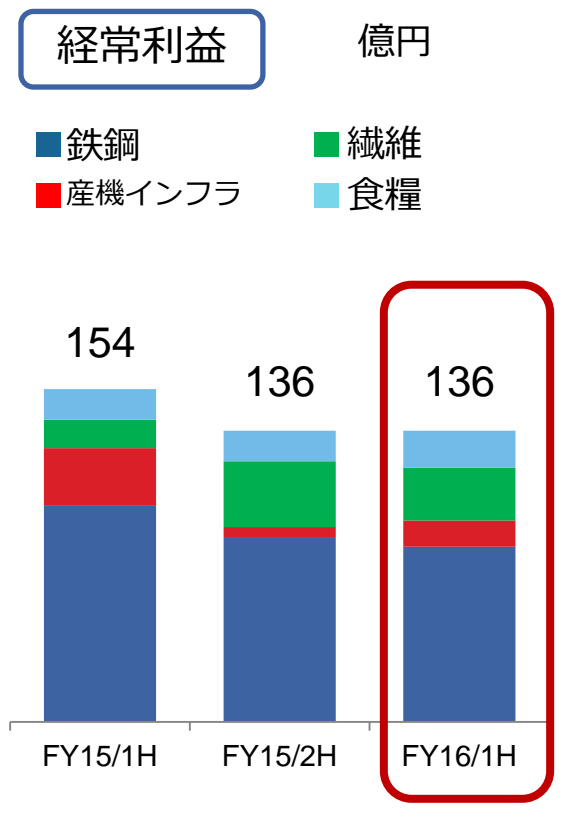
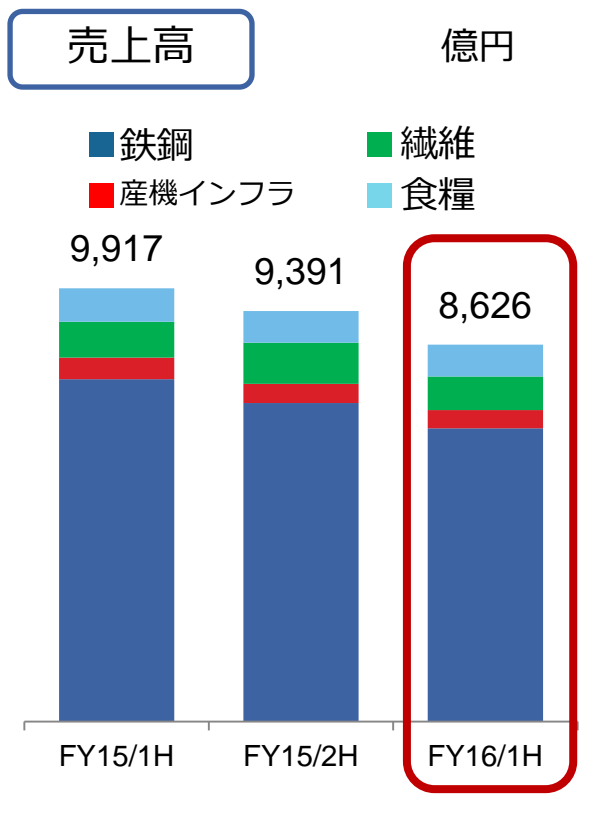
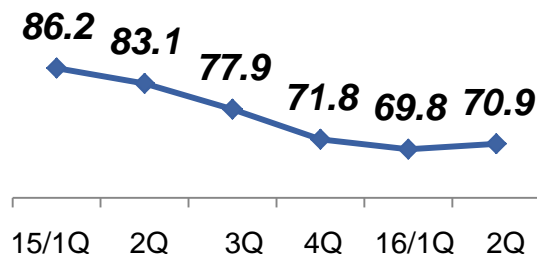
1. **2016年度上期決算実績及び2016年度見通し**
2. **中期経営計画の進捗状況**
3. **参考資料**

1. 2016年度上期決算実績及び 2016年度見通し

2016年度上期決算のポイント

- 鋼材市況の大幅下落影響を受けた鉄鋼事業の減益と産機・インフラ事業の前年同期の一過性利益剥落を主体に連結経常利益は前年同期比▲17億円減益の136億円

当社鋼材販売単価の推移（千円/t）



* 親会社株主に帰属する当期純利益（以下同じ）

2016年度上期決算概況

- 営業利益は、前年同期比ほぼ横ばいの135億円
- 当期利益は、特別損益の改善により前年同期対比▲10億円の87億円
- 上期ROEは10.2% 中間配当は予定通り7.5円

億円	2015		2016		増減	
	上期	下期	<前回予想>	上期	15上対比	15下対比
売上高	9,917	9,391	<9,200>	8,626	-1,290	-764
(利益率) 売上総利益	(6.7%) 660	(7.0%) 657		(7.1%) 608	-51	-48
営業利益	135	143	<125>	135	0	-7
持分法損益	19	3		6	-12	3
経常利益	154	136	<125>	136	-17	-0
特別損益	-11	-8		-2	8	5
当期純利益	98	74	<75>	87	-10	13
ROE	11.6%	8.8%		10.2%	-1.4%	1.4%
*EPS(円)	318.59	241.95		284.23	-34.36	42.28
配当(円)	7.5	7.5		7.5	-	-

*2016年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、2015年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期利益を算定

セグメント別売上高増減

売上高

億円	FY15/上期	FY16/上期	増減		
鉄鋼	7,827	78%	6,702	-14%	-1,124
産機・ インフラ	494	5%	417	-16%	-77
繊維	820	9%	768	-6%	-51
食糧	764	8%	729	-5%	-35
売上高計	9,917	100%	8,626	-13%	-1,290
<比率> 海外売上高	<27.9%> 2,763		<25.6%> 2,204		<-2.3%> -558

経常利益

億円	FY15/上期	FY16/上期	増減		
鉄鋼	99	59%	80	-19%	-18
産機・ インフラ	26	9%	12	-53%	-14
繊維	13	18%	24	90%	11
食糧	14	13%	17	24%	3
経常利益計	154	100%	136	-12%	-17

鉄鋼

鋼材の国内外流通及び加工販売及び
原燃料・機材販売

- ・鋼材単価下落影響(▲17%)を主体に減収減益
- ・普通鋼鋼材国内出荷は22カ月連続で前年同月を下回るものの、当社販売量は輸出を主体に前年同期比+39万トンの増加

産機・ インフラ

産業機械・工作機械、自動車部品、
鉄道車両品、アルミ製品等の販売及
びインフラ事業

- ・ロシアパイプライン向け鋼材取扱減主体に減収
- ・経常利益は、前年同期のタイにおける持分法適用会社の企業結合による一過性利益の剥落等により減益

繊維

アパレルメーカー/小売向けOEM・ODM
生産及び国際物流・海外ブランド事業等

- ・アパレルの厳しい販売環境は継続
- ・経常利益は円高効果を含む原価低減施策の実行とグループ会社損益の改善により増益

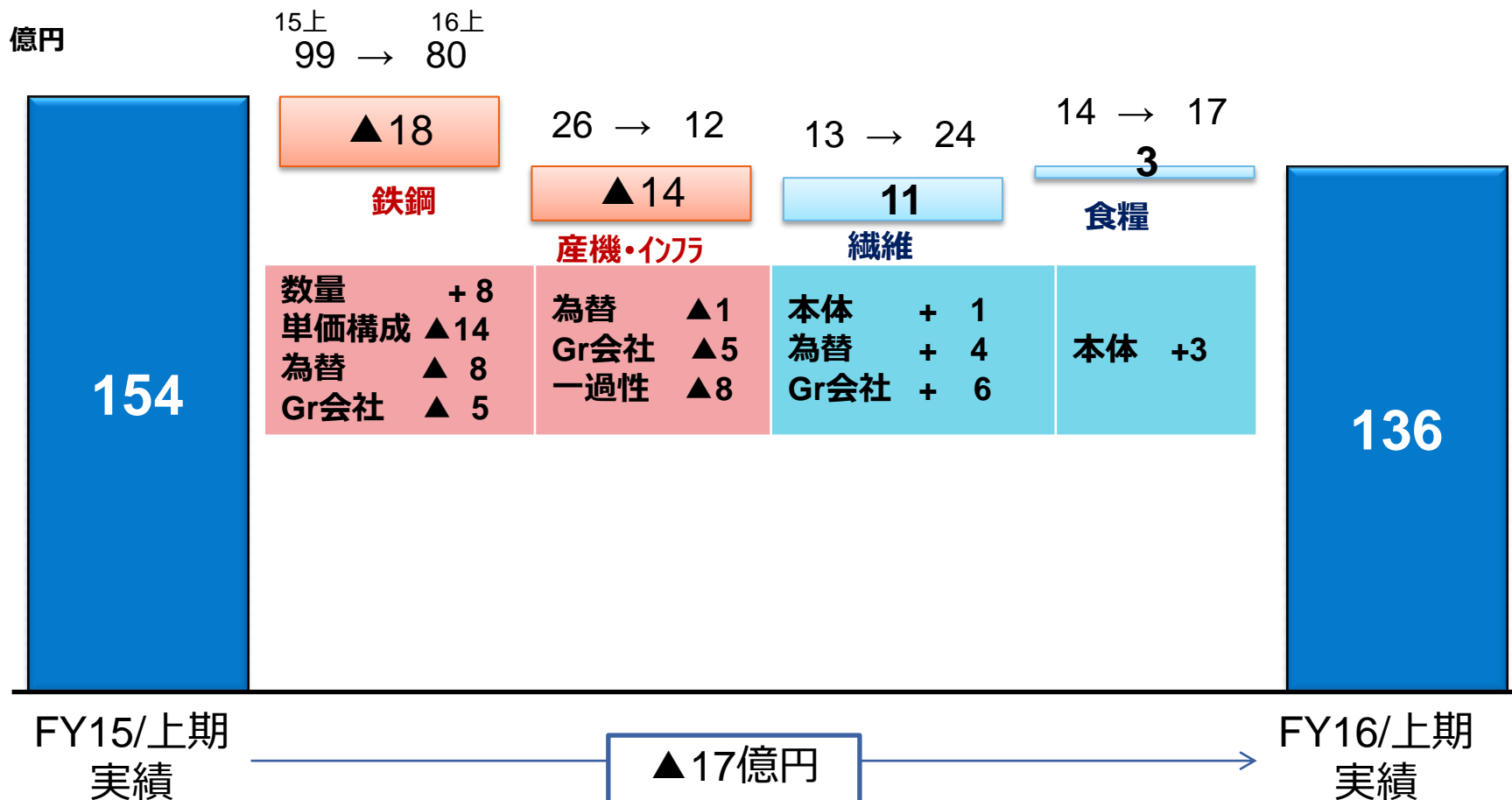
食糧

食肉及び食肉加工品、水産品及び水産
加工品等の輸入販売及び外食事業

- ・食肉価格は全体として弱含みで推移する一方、ビーフ・ブロイラー利益率の改善等から減収増益

経常利益増減要因 (15/上期実績→16/上期実績)

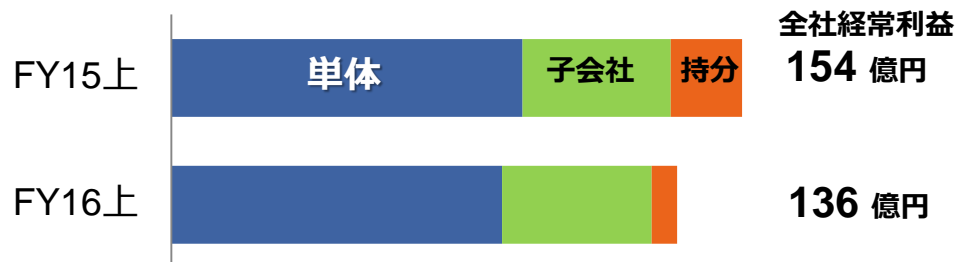
- 鉄鋼の数量増、繊維のコスト改善、食糧の利益率改善等の増加要因があったが、鉄鋼の単価下落影響と産機・インフラの前年一過性増益要因の剥落影響が大きく前年同期比で▲17億円の減益



グループ会社の状況

FY15上期→FY16上期

グループ会社実力経常利益は、前年度の
ロジャーナー過性益影響を除くとほぼ横ばい



(前年同期比) 社数	黒字	赤字	計
鉄鋼	(-1) 56	(+1) 16	(-) 72
産機・インフラ	(-) 20	(+1) 2	(+1) 22
繊維	(+4) 10	(-5) 6	(-1) 16
食糧	(-) 2	(-) 0	(-) 2
現法他	(-2) 7	(+2) 5	(-) 12
グループ会社数計	(+1) 95	(-1) 29	(-) 124

鉄 鋼

産機・インフラ

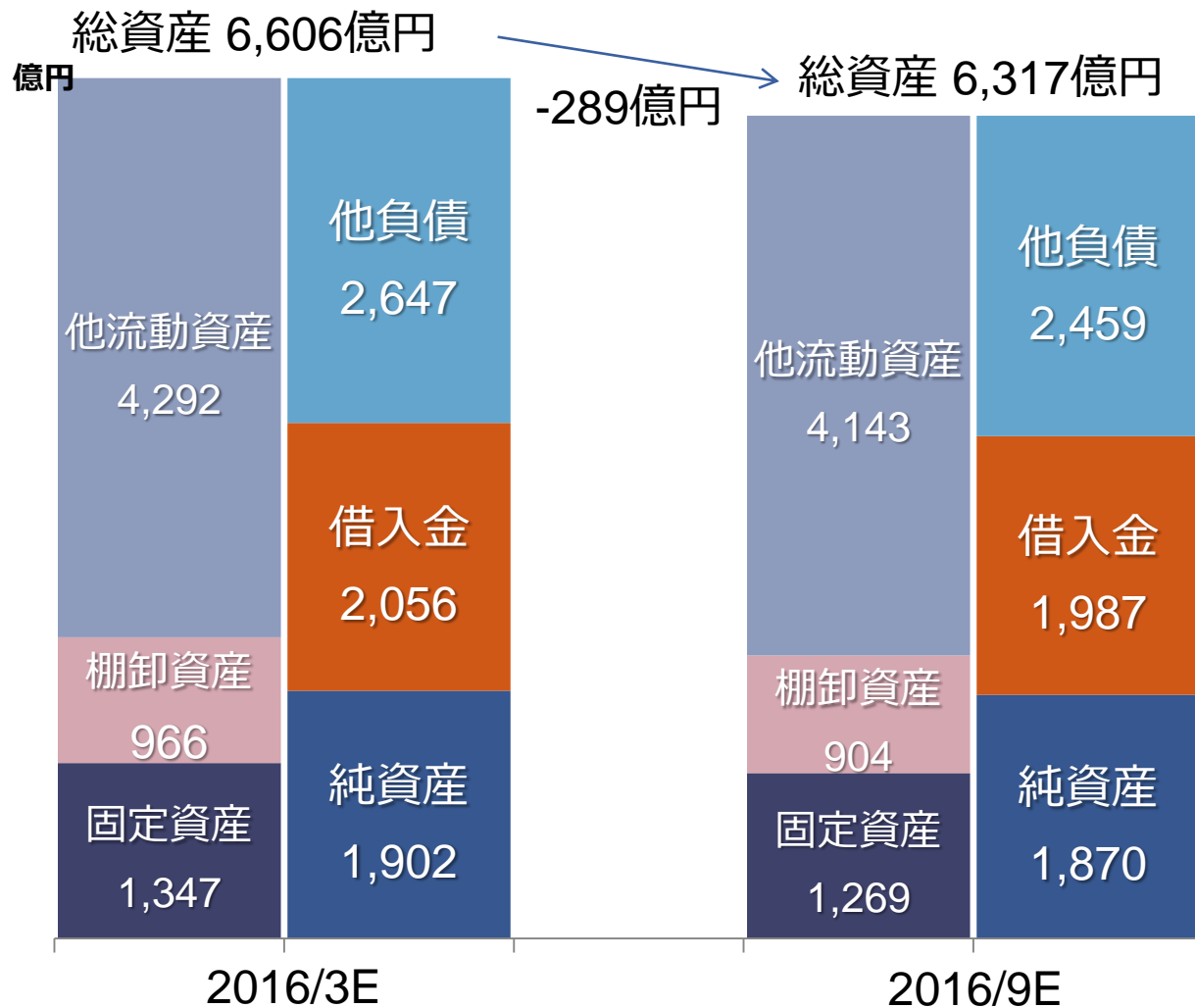
繊 維

食 糧

経常利益構成 (FY16/上期) *単体には消去等を含む				
経常利益増減(億円)	▲ 18	▲ 14	+ 11	+ 3
内*Gr会社(億円)	▲ 5	▲ 13	+ 6	-
主なGr会社 損益増減要因	× 人民元安に伴う 為替換算差	× 前年度一過性 利益の剥落 × タイ工業団地 販売の減	○ エフォーム子会社 の改善 ○ 不採算事業の 整理	

バランスシート of 状況

- 売上債権・棚卸資産が減少、Net - DER・自己資本比率共に改善
- 為替換算調整勘定影響で純資産は減少



	16/3E	16/9E	増減
自己資本比率	26.3%	27.2%	+0.9%
Net - DER	1.1倍	1.0倍	-0.1倍



キャッシュフローの状況

億円	15/上期	16/上期	増減
営業キャッシュフロー	156	89	-67
投資キャッシュフロー	-30	-17	13
フリーキャッシュフロー	126	72	-54
有利子負債増減	-63	-21	42
配当支払い	-23	-28	-5
換算差額他	-9	-24	-15
現金同等物増減	-31	2	33

債権流動化減

設備投資 18億円,事業投融資 8億円

9E借入金1,987億円

14期末6円/株,15期末7.5円/株

円高影響

16年度業績見通し及び配当方針 <売上高見通しのみ下方修正>

業績見通し : 下期からの鋼材需要、鋼材価格の回復及び繊維部門の収益拡大を見込み、
 全社では15年度実績からの増益を目指す

億円	FY15	<前回見通し>		FY16 見通し	増減 16-15
		上期実績	下期見通し		
売上高	19,308	8,626	10,174	<19,700> 18,800	-508
営業利益	278	135	155	<290> 290	12
経常利益	290	136	164	<300> 300	10
当期純利益	173	87	88	<175> 175	2

*配当(円/株)	150	75	75	<150> 150	-
配当性向	26.8%			26.5%	

セグメント別経常利益見通し

億円	<前回見通し> FY16見通し		増減 16-15
鉄鋼	<190>	182	-2
産機・刃万	<27>	27	-6
繊維	<53>	58	15
食糧	<30>	33	4
経常利益計	<300>	300	10

FY16設備投資・事業投資見通し

150億円

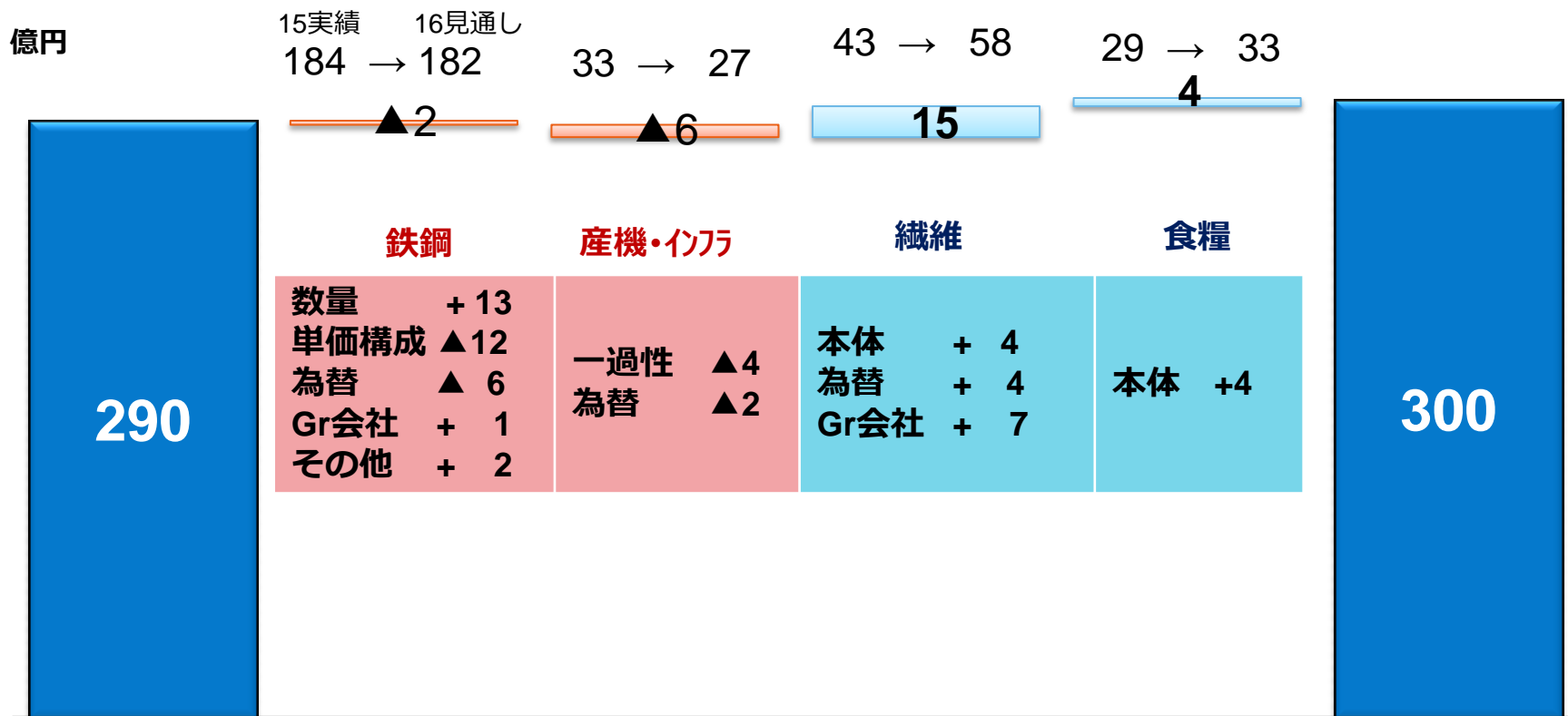
* FY15, FY16上期の配当は株式併合後の数値で換算した金額

<参考> 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして考え、財務体質の改善を図りつつ、連結配当性向25%~30%を目安に業績に応じた配当を行うことを基本方針といたします。

経常利益増減要因 (FY15実績→FY16見通し)

- 鉄鋼の数量増、繊維のコスト改善、食糧の利益率改善、グループ会社改善等により、鉄鋼の単価下落影響と産機・インフラの前年一過性増益要因の剥落影響をカバーし、前期対比で+10億円の増益計画



FY15実績

+10 億円

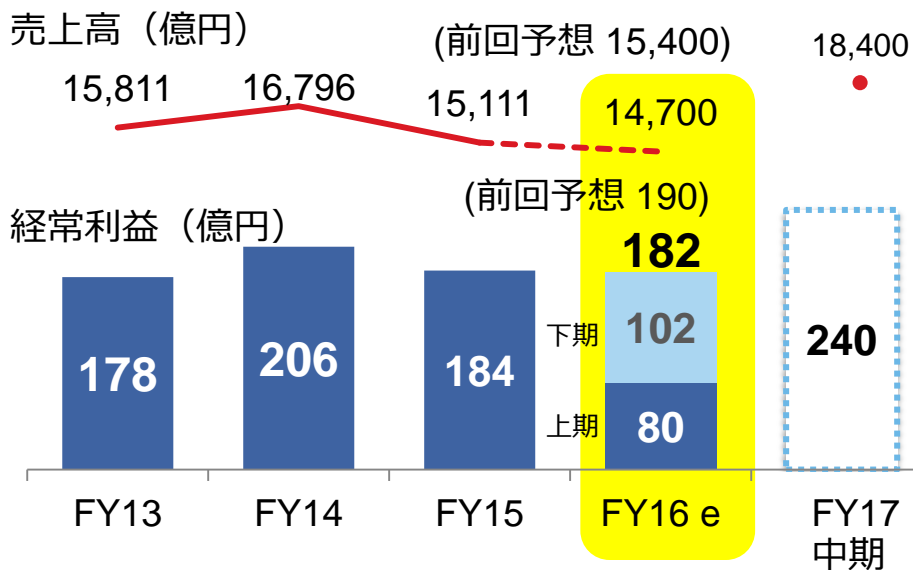
→ FY16見通し

2.中期経営計画の進捗状況

中期計画進捗状況：①鉄鋼事業

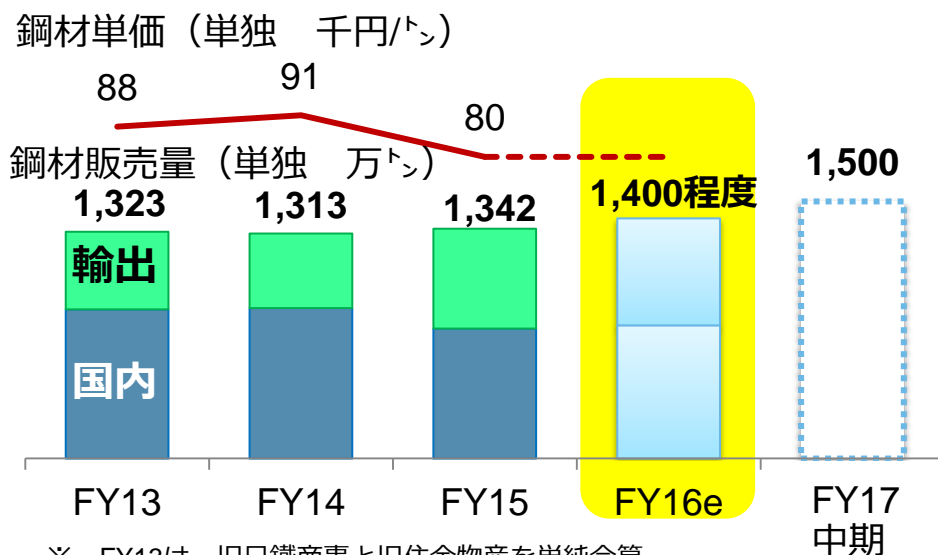
16年度見通し (15年度対比)

売上：↘ 利益：→



16年度業績見通し

- 下期為替前提を100円/\$に見直し、売上高(▲700億円)／経常利益(▲8億円)共に下方修正
- 下期需要環境は好転傾向、販売価格改善に注力



中期策定時からの環境変化

- 世界的な鋼材市況下落、新興国の成長鈍化、各地での貿易摩擦増加
- 内需の停滞

当社の対応

新日鉄住金と一体となった戦略実行

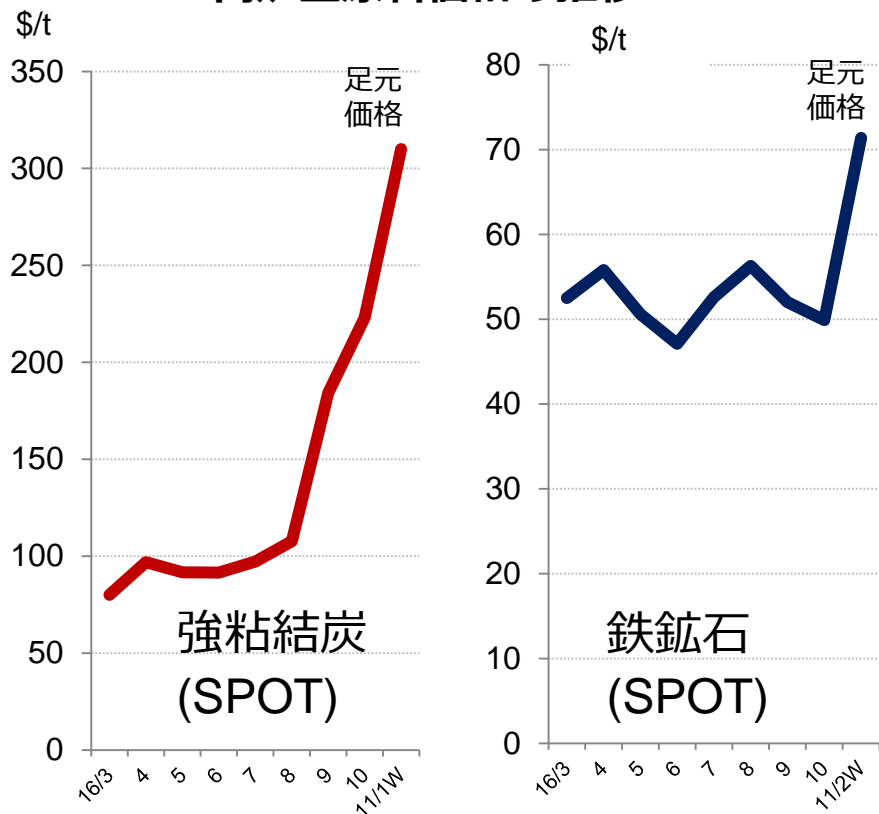
- 拡販、シェアアップ
- グローバル拠点の拡大
- 内外加工拠点の競争力強化

※ FY13は、旧日鐵商事と旧住金物産を単純合算
販売量には半製品を含む、単価は半製品除き

鋼材市況の状況

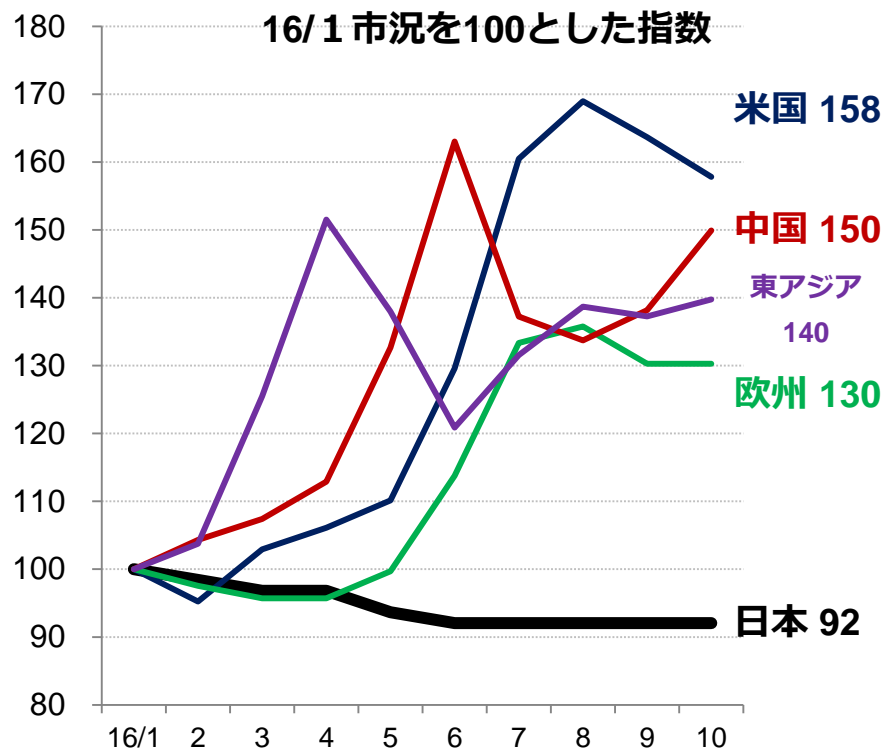
- 強粘炭市況の暴騰を受け、各国市況は大幅な上昇
- 世界市況に対し回復が遅れていた国内市況も、堅調な下期内需、在庫など需給要因の改善、メーカー各社の値上げ実行を受けての回復を予想

高炉主原料価格の推移



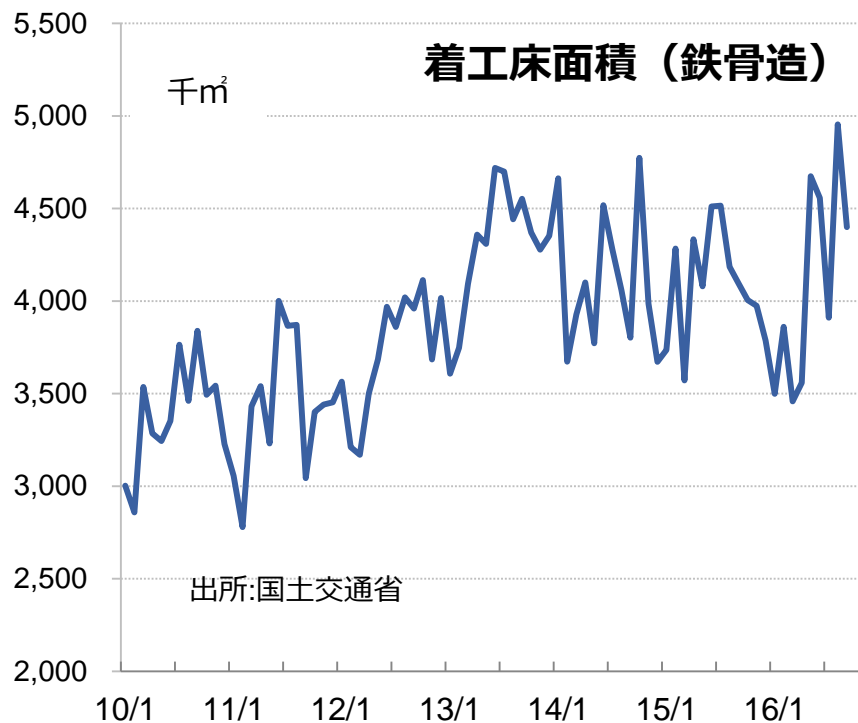
出所：各種報道等より当社調べ

世界のHRC市況（インデックス）の推移

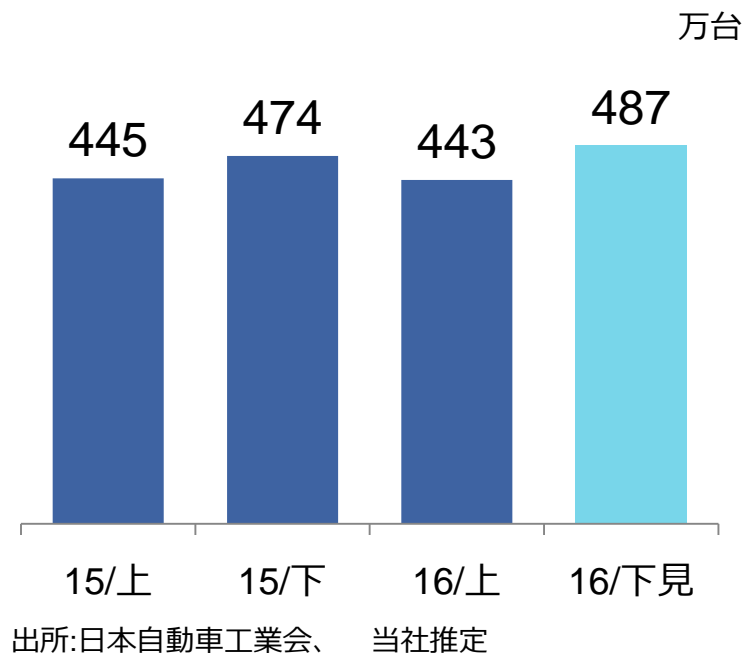


出所：各種報道等より当社調べ

鋼材内需の状況



完成車生産台数



普通鋼鋼材 部門別国内消費見通し

千ト	15/3Q実績	16/3Q見通し	増減
建設	5,649	5,680	<+0.5%> +31
製造業	6,761	6,870	<+1.6%> +109
合計	12,410	12,550	<+1.1%> +140

出所:経済産業省

(参考) 当社のポジション

国内普通鋼鋼材シェア

16/2Q推定 約16%

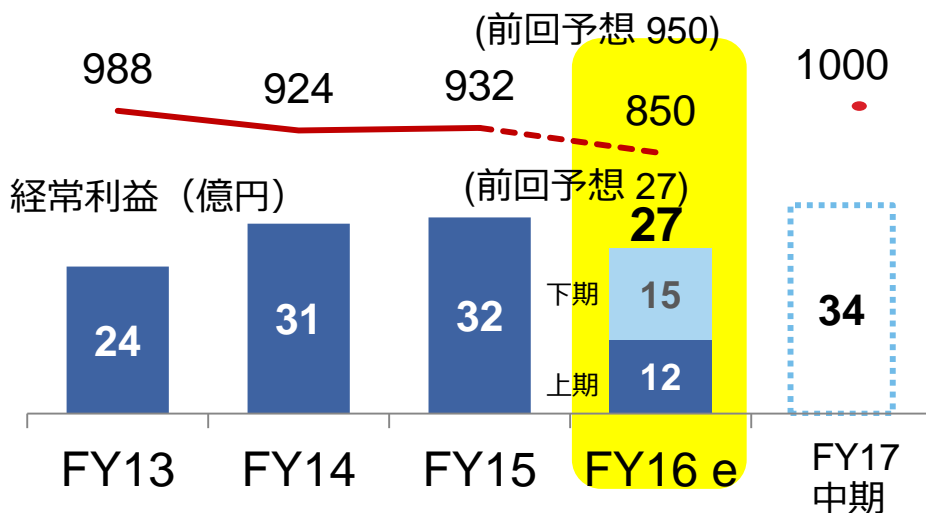
輸出熱延薄板シェア

16/2Q推定 約25%

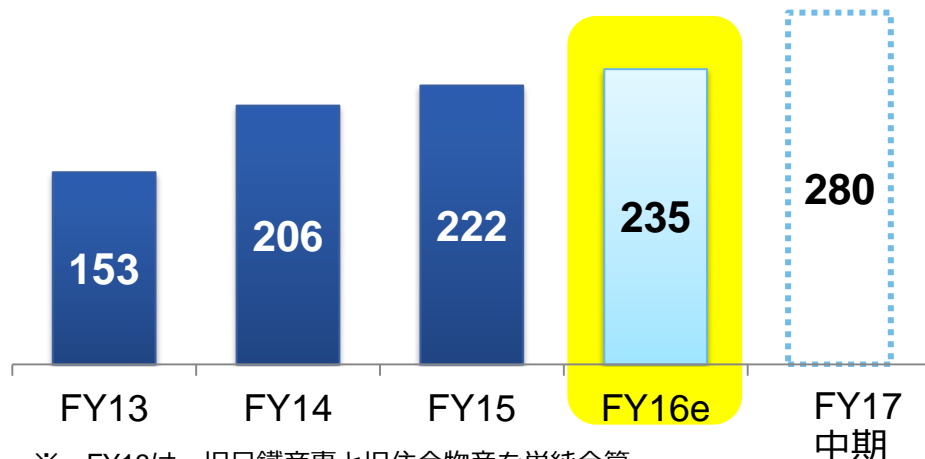
中期計画進捗状況：②産機・インフラ事業

売上：↘ 利益：↘

売上高 (億円)



ヘッドレスト部品売上高 (億円)



※ FY13は、旧日鐵商事と旧住金物産を単純合算

16年度見通し

- 為替水準の見直し主体に売上高を下方修正 (▲100億円)
- タイ・ロシア経済の回復遅れもあり、前年の一過性利益を除いた実力損益では横ばいを予想

中期策定時からの環境変化

- 新興国経済の想定以上の悪化
<産機:ロシア、インフラ:タイ>

当社の対応

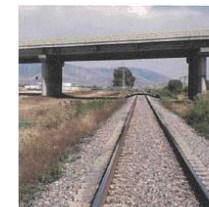
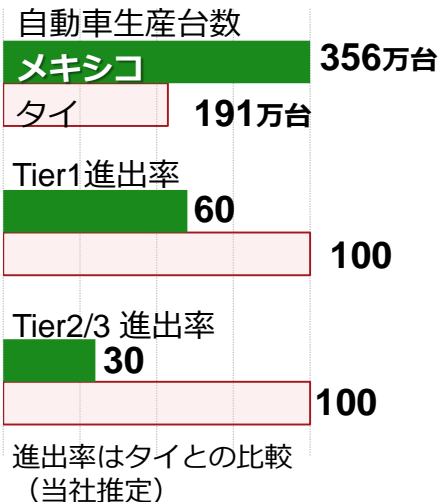
経済回復期に備えた対応強化

- ロジャナ工業団地の拡張推進
- メキシコ ヘッドレスト、自動車部品工場の能力増強
- **メキシコ工業団地代理店事業の展開**

メキシコへの事業展開 / 国内子会社の取組

メキシコで工業団地ビジネスを展開

メキシコの工業団地最大手ディベロッパーと年内に日系企業向け総代理店契約を締結予定。タイ ロジャナ工業団地経営のノウハウを活かし、今後メキシコ進出を希望する日系企業を日墨両方でフルサポート。



鉄道輸送 (Santa Fe)



コンテナ輸送 (Santa Fe)



排水処理設備 (Santa Fe)

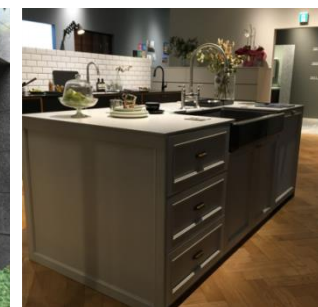


発電設備 (Santa Fe)

米国コーラー社製品のショールームを東京・新橋にオープン

米国の住宅設備機器・衛生陶器メーカーのコーラー社の正規輸入代理店である、日鉄住金物産マテックス(株)が、2016年7月25日、同社製品のショールームを東京・新橋にオープン。

首都圏再開発・高級ホテル開発関連需要に向けて、海外製品の輸入販売のノウハウを活かし、グループ連携によりコーラー社製品を拡販。

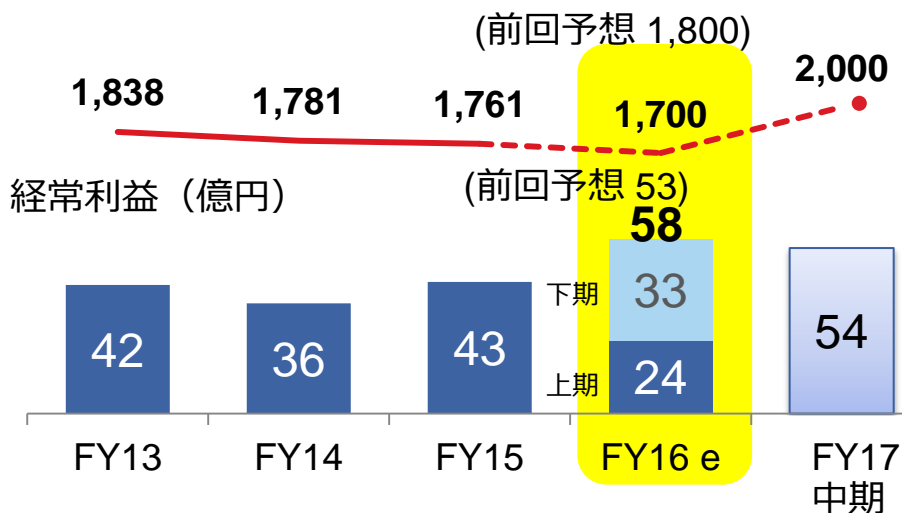


中期計画進捗状況：③繊維事業

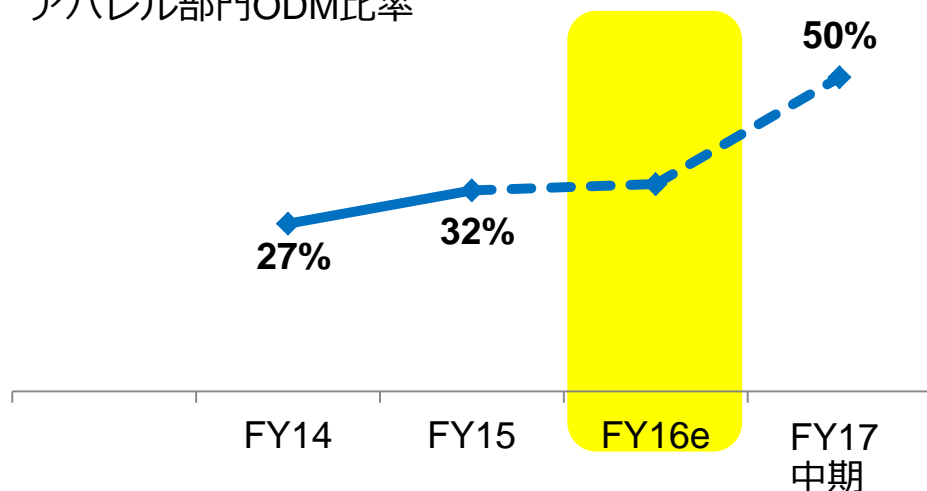
16年度見通し (15年度対比)

売上：↘ 利益：↗

売上高 (億円)



アパレル部門ODM比率



16年度見通し

- 上期実績を考慮し、売上高は▲100億円下方修正なるも、コスト削減の進捗を鑑み、経常利益は+5億円の上方修正
- コスト削減を強化し、中期計画利益の前倒し達成を目指す。
 - ・ 自社工場の生産性向上
 - ・ 外注先での当社専用ライン確保
 - ・ 本社受発注業務の効率化

中期策定時からの環境変化

- 衣料品消費市場低迷の長期化

当社の対応

OEM事業で培った企画提案力と物流・販売ノウハウを活かした事業ドメイン拡大

- OEM→ODM形態への進化
- 海外販売の拡大
- ブランド・物流関連等、

ソリューション事業等の展開

繊維事業の進化に向けた取組み

サンペックスイスト社におけるRFIDを活用したレンタル事業への取組み

- ICチップ入りのRFIDタグ(*1)を装着したオフィス用制服レンタル事業を開始
- 個々人のクリーニング頻度、交換時期アラート等をタグの電子情報読取りにより、従来のバーコード管理等に対し、圧倒的な効率的管理を実現、盗難防止等のコンプライアンス向上も含めた顧客のご要望に細かく応える先進的なシステムを構築

業務のムダ排除



セキュリティ管理
の強化・高度化



時間のムダ排除



(*1)RFIDタグ

非接触方式自動認識タグ。電波を介して商品に触れずデータの書込みができるため、レンタル中、クリーニング中等でも商品の状況を簡単に管理することが可能（当社はRFID世界最大手IMPINJ社の日本総代理店）

上海開催の展示会に出展

アジア地域におけるOEM / ODMビジネスの拡大を目的に100ヶ国近い国・地域から7万人余名の来場者数を誇るインターテキスタイル上海に継続して出展



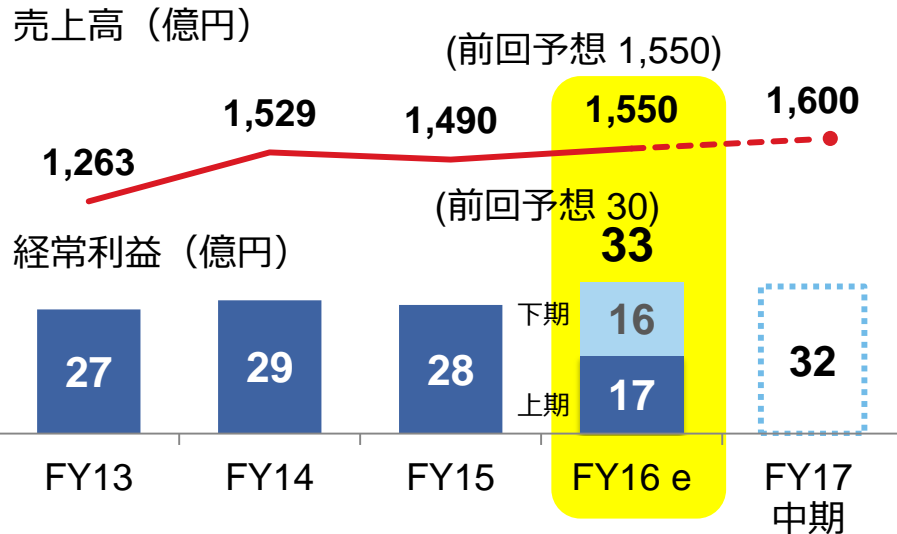
レディース商材総合展の開催

OEM / ODMビジネスにおいて、多様化する顧客ニーズへの対応力、また最適なオペレーションを提案するため、当社でレディース衣料を扱う全部隊及びグループ会社が一同に集い、レディース関連の全アイテムを一度に提案する総合展を開催

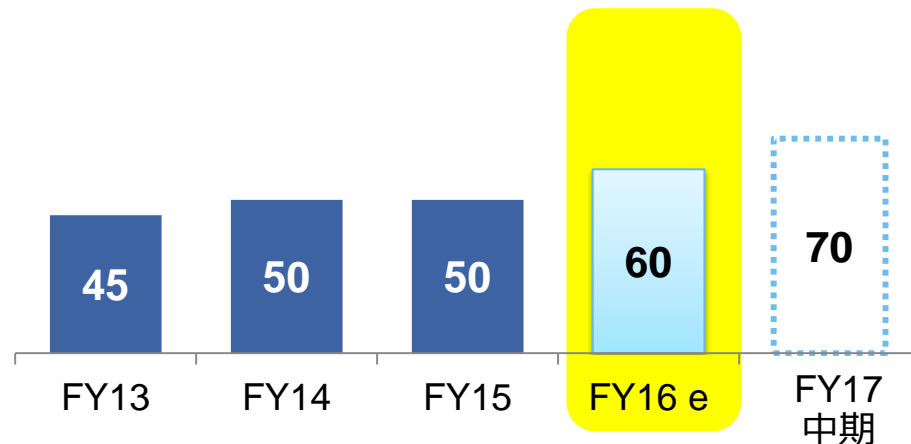


中期計画進捗状況：④食糧事業

売上：↗ 利益：↗



食糧事業 海外売上高 (億円)



16年度見通し

- 経常利益を+3億円上方修正
- 17年度中期目標前倒し達成に向けた取り組みを継続
- 安定かつ安全安心な海外仕入力の強化
- 三国間取引、海外地場取引の規模拡大

中期策定時からの環境変化

- 国内市場縮小傾向
- 為替の円高傾向

当社の対応

三国間取引の強化

- 牛肉・豚肉の中国及び東南アジア向け拡大
- 鶏肉の中国向け拡大

和牛輸出の拡大

- つぼ八の東南アジアを中心とする海外展開

海外における外食ビジネスの取組み

台湾乾杯社の海外一号店「老乾杯 上海外灘本店」がミシュラン一つ星を獲得

当社が15%弱出資する乾杯社の海外一号店「老乾杯 上海外灘本店」が、「ミシュランガイド上海2017」にて一つ星を獲得。

「老乾杯」は乾杯社が手がけるブランドの一つで、高品質を売りにした和風焼肉店。



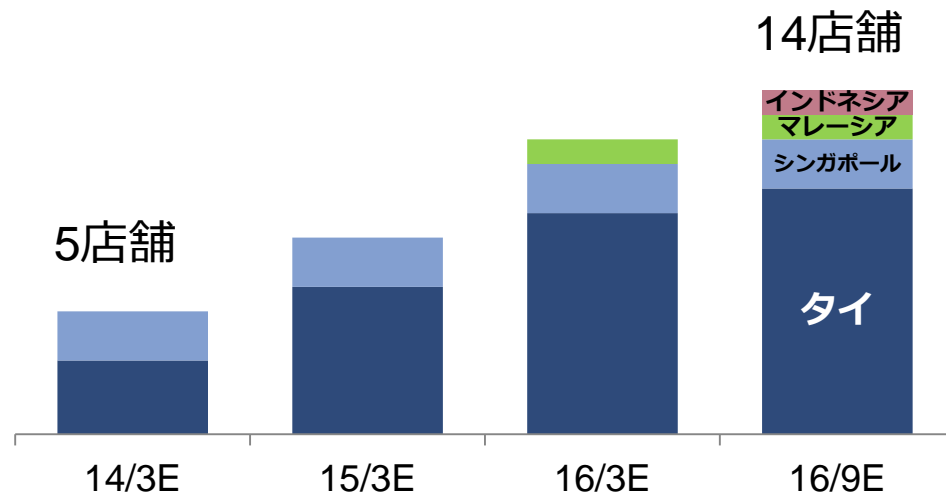
つぼ八の海外フランチャイズ展開

つぼ八および系列店舗（伊藤課長、大正亭）の海外出店を拡大。

2014年3月末⇒2016年9月末で9店舗の増加。



つぼ八 ジャカルタ店



統合基幹システム稼動に伴うデータセンター統合

統合基幹システムの稼動に伴い、これまで3箇所で運用してきたデータセンターを2018年度より新拠点1箇所に統合する。

→ 統合基幹システム稼動効果と併せ、約12億円の統合効果実現

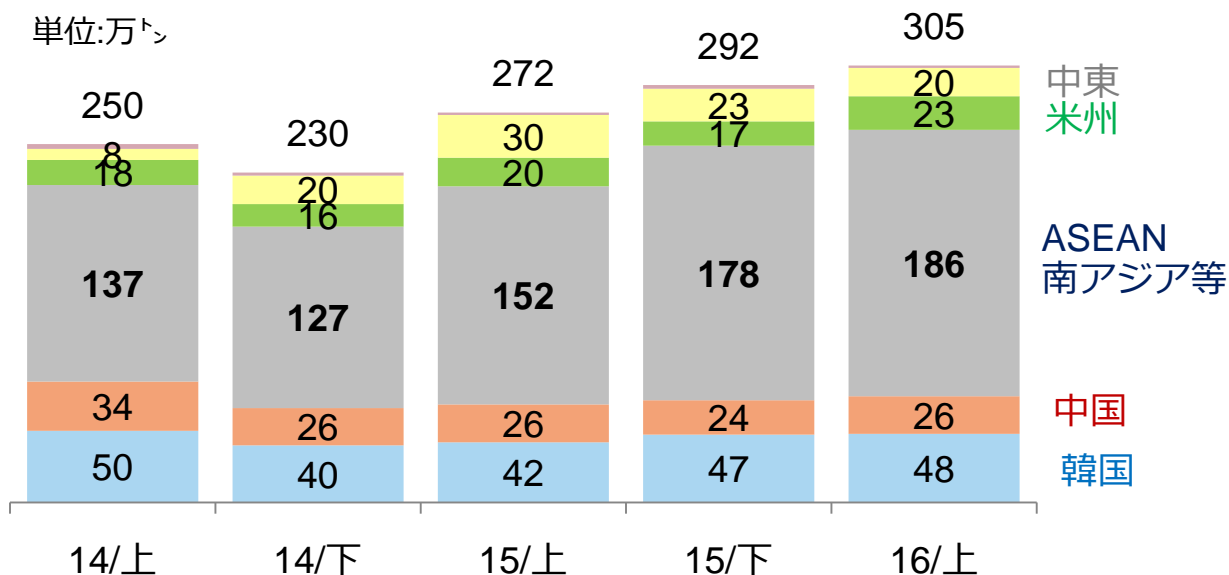


- コスト削減 約4億円（2016→2018年度）
- 運用効率向上
- BCP対応強化
- クラウド導入による将来のデータ容量増加対応

<参考> 当社の海外ビジネスの概要

鉄鋼事業鋼材輸出（半製品を含む）の推移

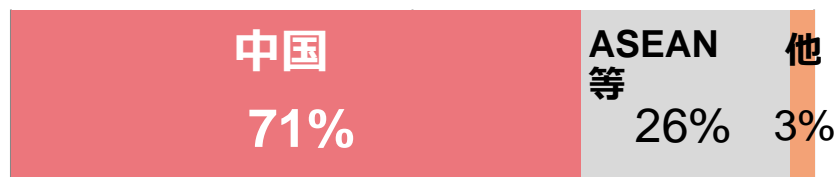
単位:万ト



主な鋼材輸出内容

- ・製造業向け薄板
- ・製造業向け薄板、棒線
- ・製造業向け薄板、棒線
- ・土木/建設向け
- ・新日鐵住金現地下工程向け母材
- ・製造業向け薄板
- ・土木/建設向け
- ・製造業向け薄板

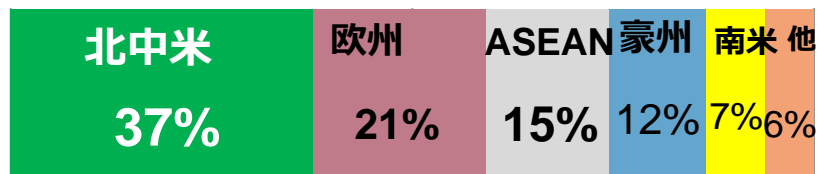
繊維事業(単体)地域別
輸入金額比率(FY16/上期)



地域別輸入動向

QR (クイックレスポンス)の動きが強まる中、一部商材は中国へ回帰

食糧事業(単体)地域別
輸入金額比率(FY16/上期)



安心安全の観点より、各国の優良パッカーを開拓し幅広く取引

<参考> 当社の地域別ビジネス内容 1) 東アジア

当社連結海外売上高に占める比率
(2015年度)

35%

中国・香港・台湾・
韓国

主なビジネス

鉄鋼	<ul style="list-style-type: none"> 鋼材輸出/輸入 現地拠点での加工 鉄鋼資機材品の輸入
産機・インワ	<ul style="list-style-type: none"> 自動車部品の生産 非鉄等の輸出
繊維	<ul style="list-style-type: none"> OEM/ODM生産拠点 世界各国バイヤーとの商談拠点
食糧	<ul style="list-style-type: none"> 畜肉の三国間取引 加工食品の輸入 外食ビジネス



<参考> 当社の地域別ビジネス内容 2) ASEAN

当社連結海外売上高に占める比率
(2015年度)

39%

ASEAN

主なビジネス

鉄鋼

- ・ 鋼材輸出
- ・ 現地拠点での加工
- ・ 域内取引/域外取引

産機・インフラ

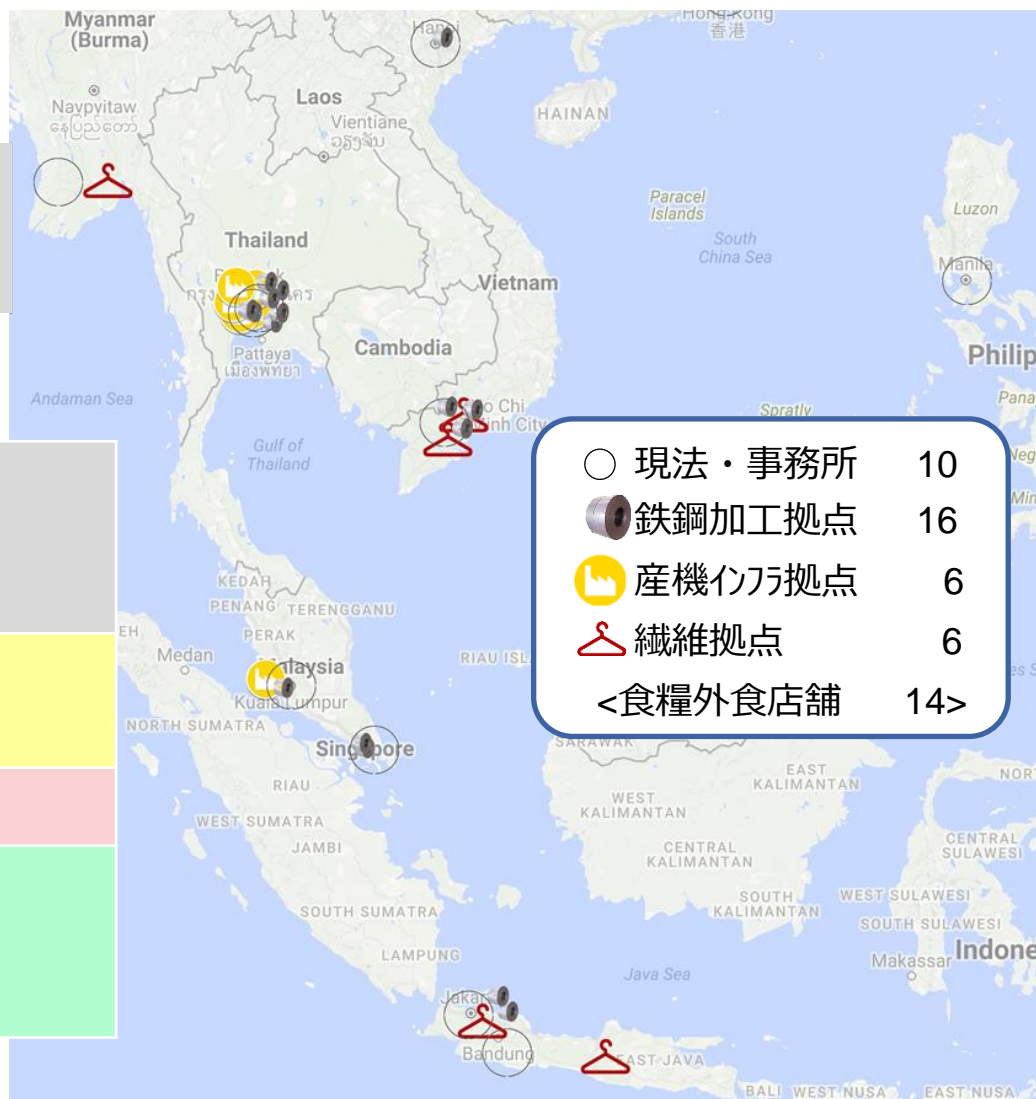
- ・ 工業団地の経営
- ・ 非鉄等の輸出

繊維

- ・ OEM/ODM生産拠点

食糧

- ・ 畜肉の輸入
- ・ 加工食品の輸入
- ・ 外食ビジネス



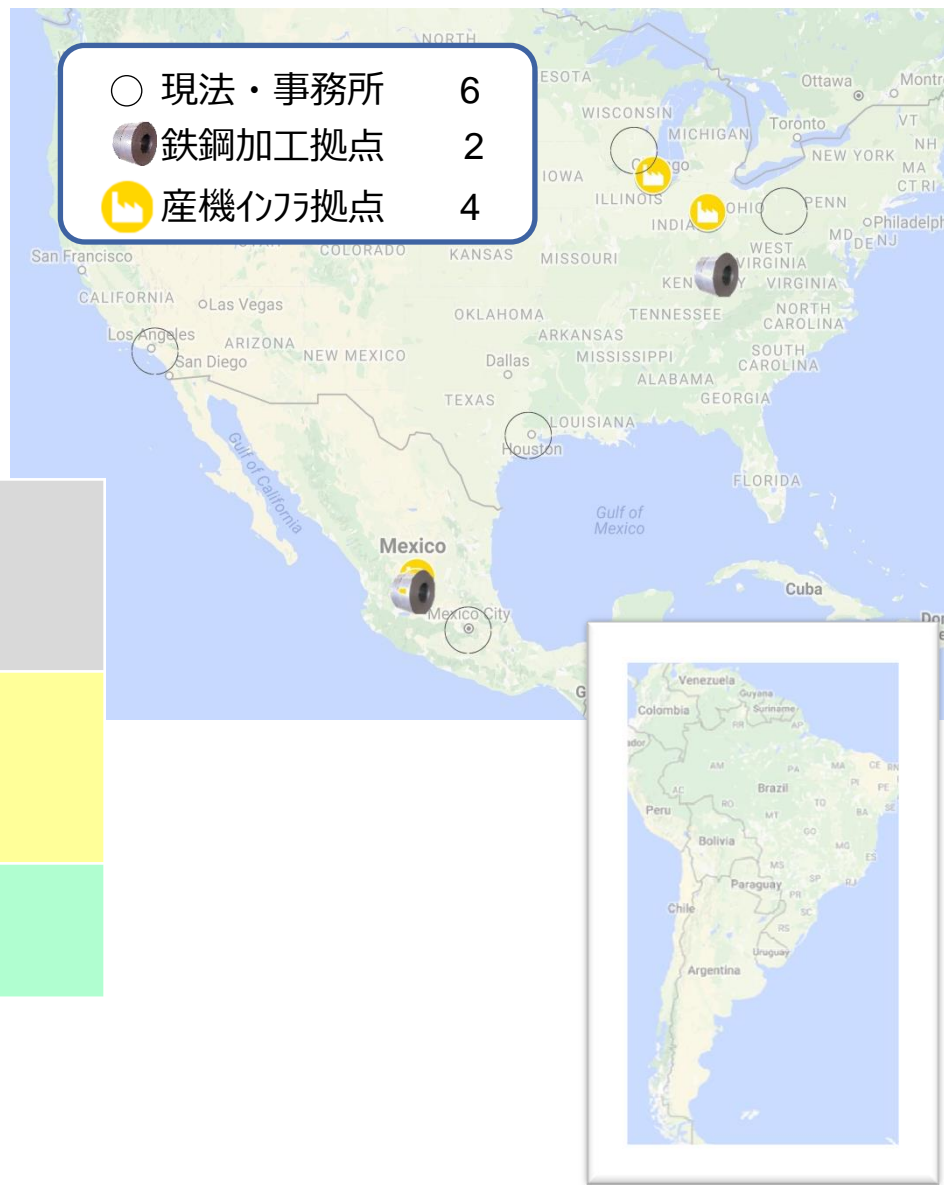
<参考> 当社の地域別ビジネス内容 3) 米州

当社連結海外売上高に占める比率
(2015年度)

13% 米州

主なビジネス

鉄鋼	<ul style="list-style-type: none"> 鋼材輸出 現地拠点での加工 域内取引
産機・インワ	<ul style="list-style-type: none"> 自動車部品の生産 工業団地の販売 産業機械の輸出
食糧	<ul style="list-style-type: none"> 畜肉の輸入 水産物の販売



<参考> 当社の地域別ビジネス内容 4) その他地域

当社連結海外売上高に占める比率
(2015年度)

13% 中東・南アジア・欧州・
ロシア・豪州

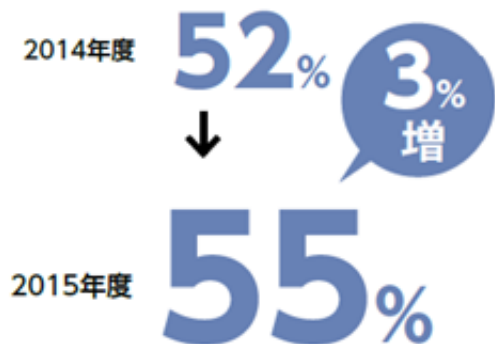
主なビジネス

鉄鋼	<ul style="list-style-type: none"> 鋼材輸出 原材料の輸入
産機・インワ	<ul style="list-style-type: none"> 自動車部品の生産 産業機械の輸出
繊維	<ul style="list-style-type: none"> OEM/ODM生産拠点
食糧	<ul style="list-style-type: none"> 畜肉の輸入

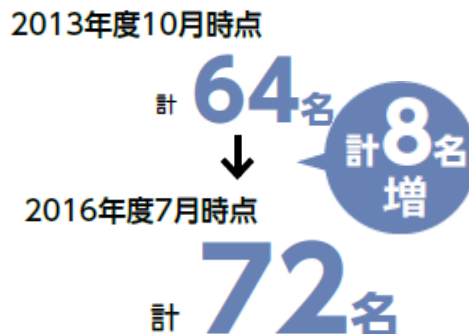


経営統合後3カ年 ワークスタイルの変化

平均年休取得率



女性総合職及び 管理職の人数



海外研修生の人数 (延べ人数)



コピー紙の利用量 (ISO グループ会社も含む)



電気利用量 (ISO グループ会社も含む)



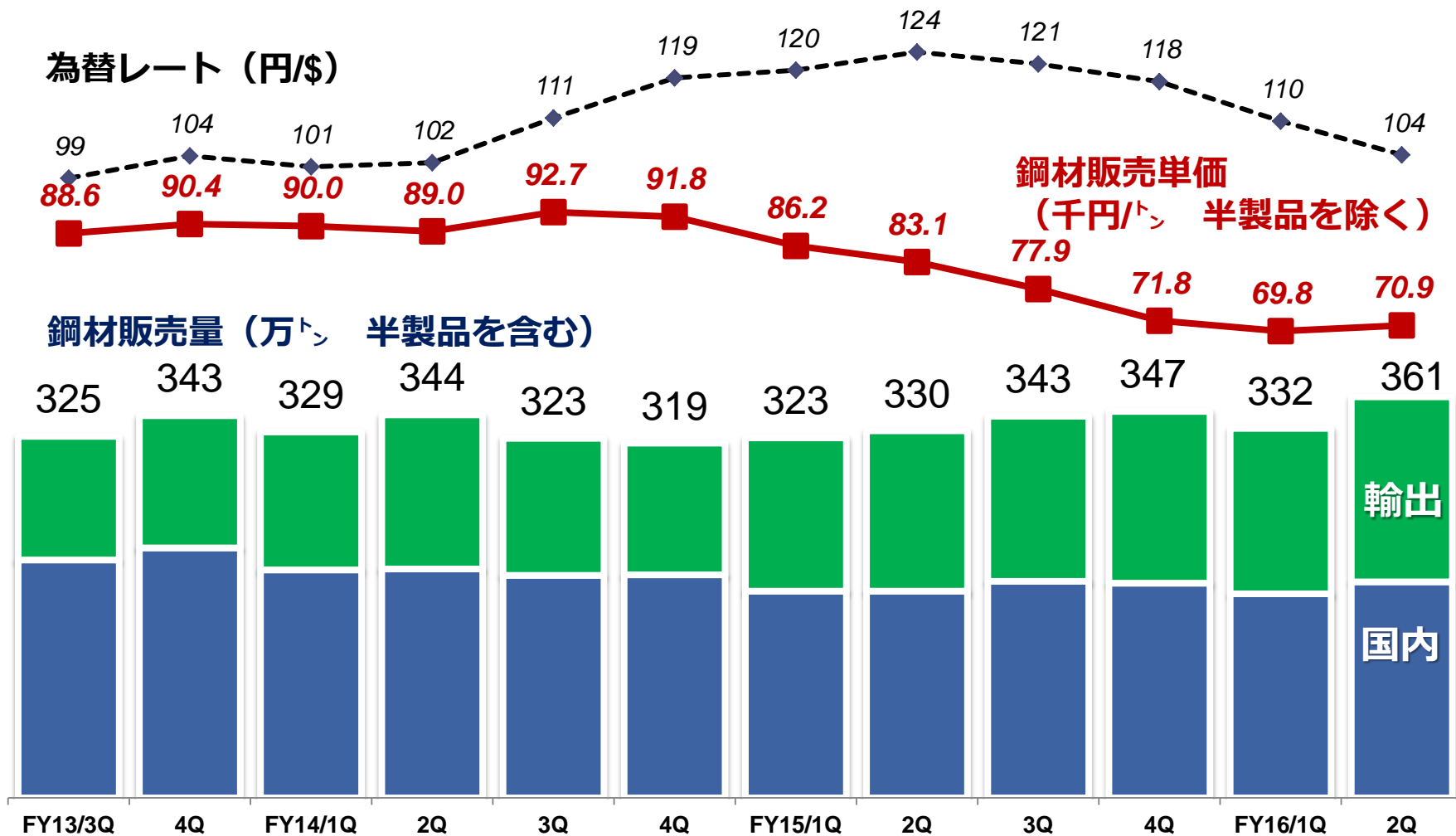
3. 参考資料

四半期別売上高・経常利益推移

億円	FY2014				FY2015				FY2016	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
鉄鋼	3,962	4,262	4,286	4,286	3,853	3,973	3,654	3,629	3,230	3,472
産機10万	207	222	259	236	235	259	205	232	214	202
繊維	417	425	454	484	390	429	467	473	373	394
食糧	375	396	413	343	378	386	380	344	363	365
その他	3	3	2	3	3	6	0	3	3	5
売上高計	4,966	5,309	5,415	5,353	4,860	5,056	4,708	4,682	4,185	4,441
鉄鋼	42	52	54	57	54	44	38	46	38	42
産機10万	5	3	11	11	19	7	4	1	7	4
繊維	11	1	3	20	7	5	10	19	16	8
食糧	9	7	8	4	7	6	8	6	9	7
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常利益計	69	65	77	94	88	65	62	74	72	63

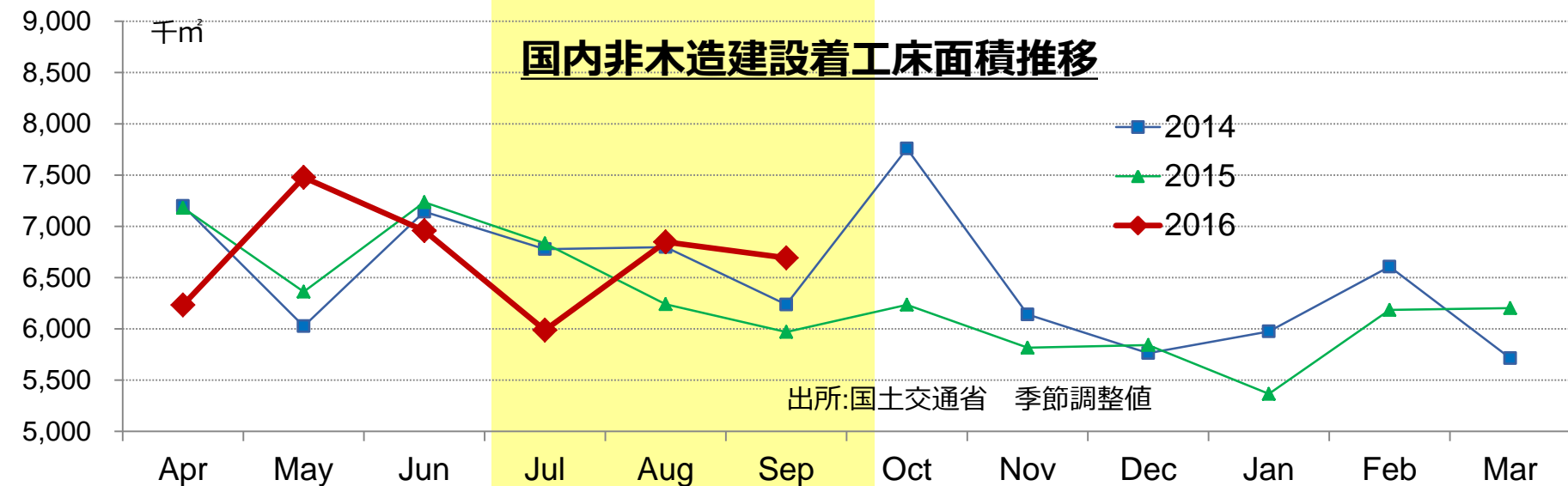
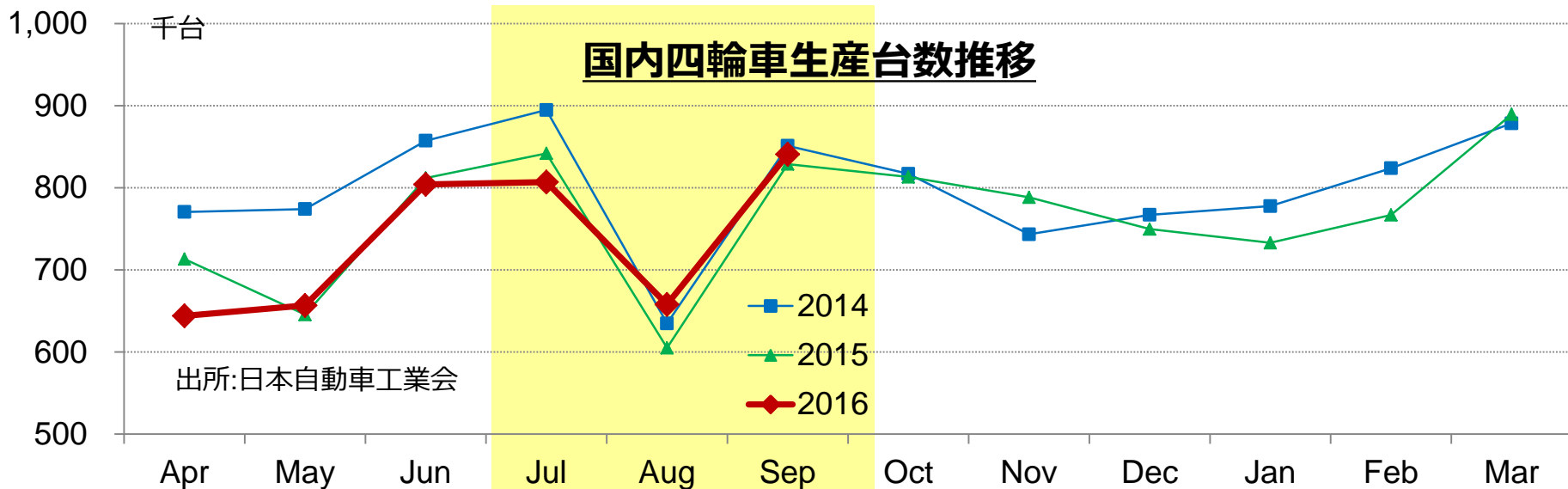
鉄鋼部門（単独）

鋼材販売量と単価の推移

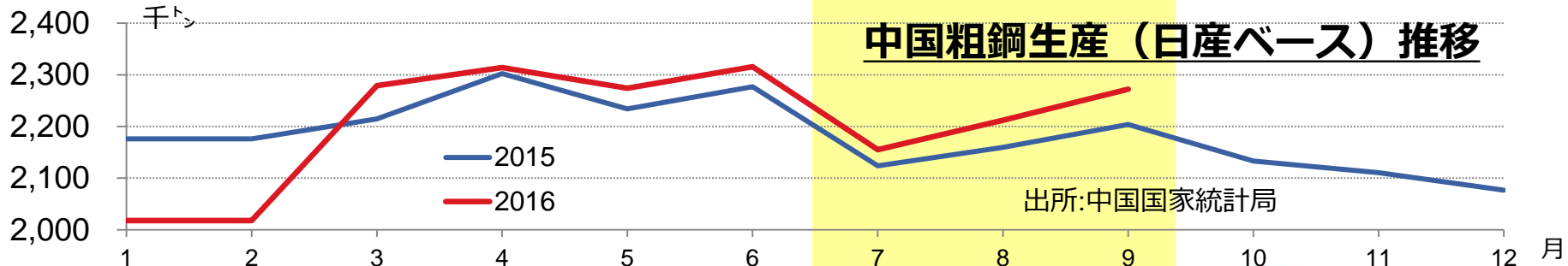
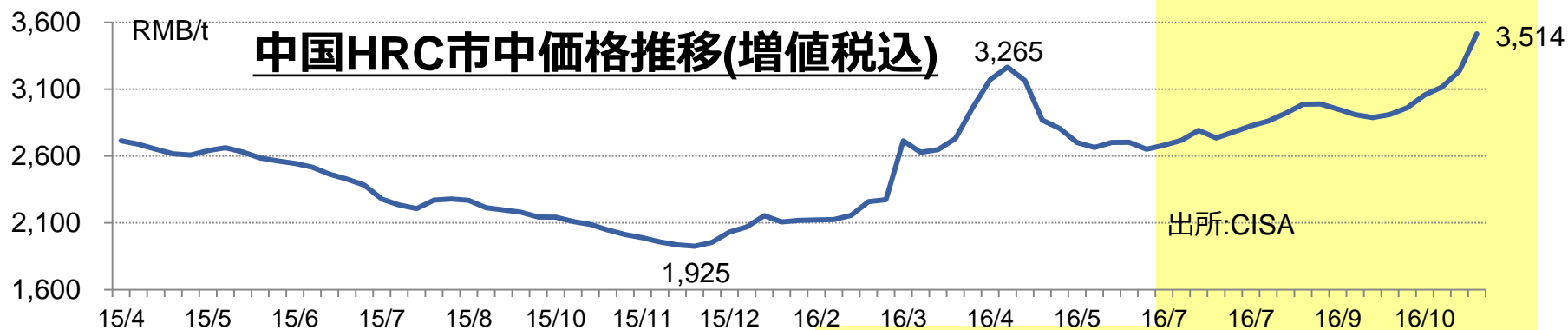
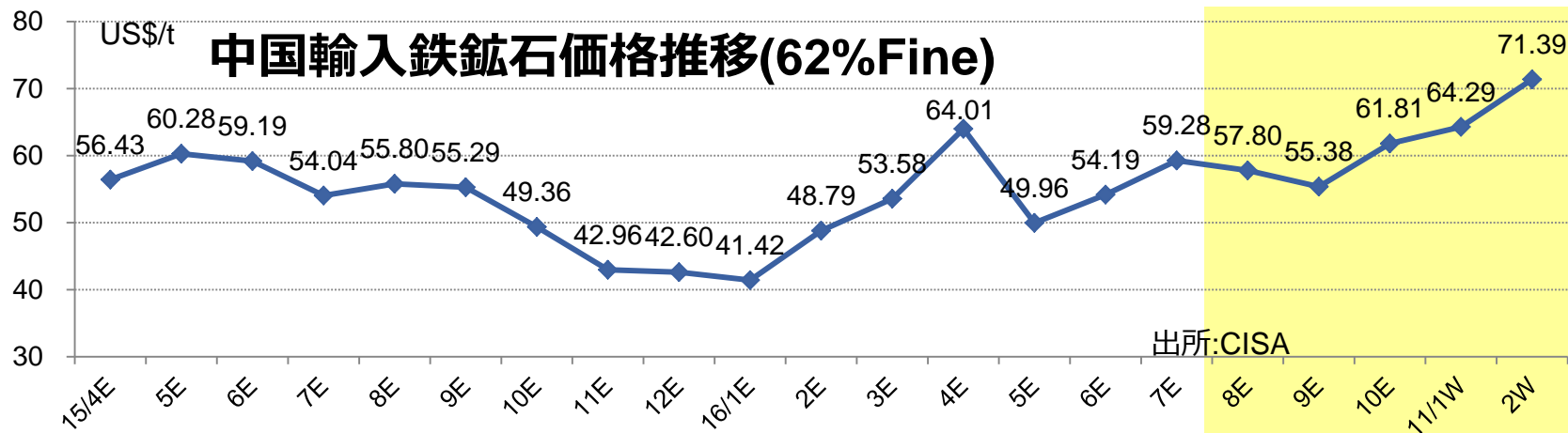


出所：当社調べ

国内需要産業の動向

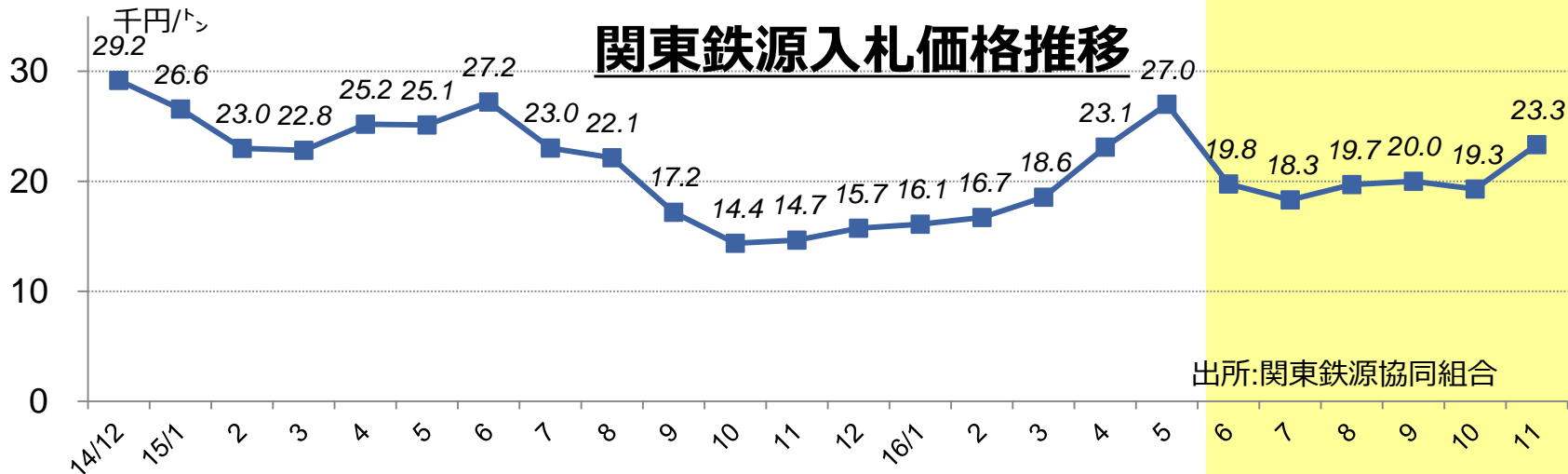


中国内市況

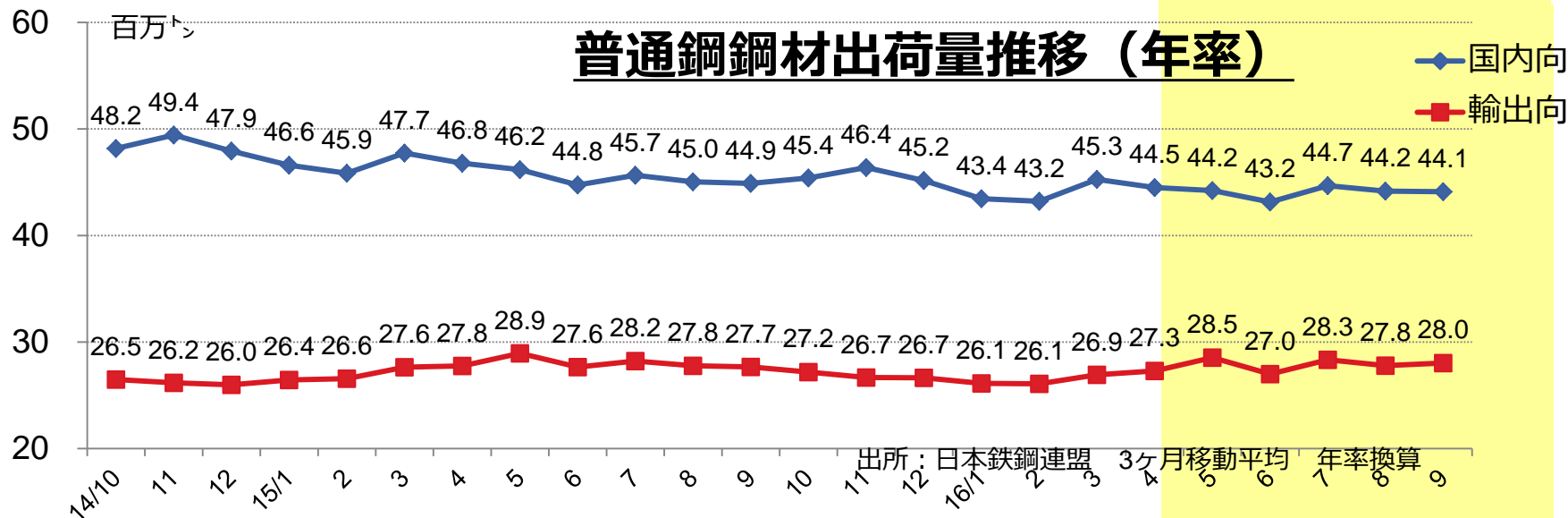


国内鋼材関係データ

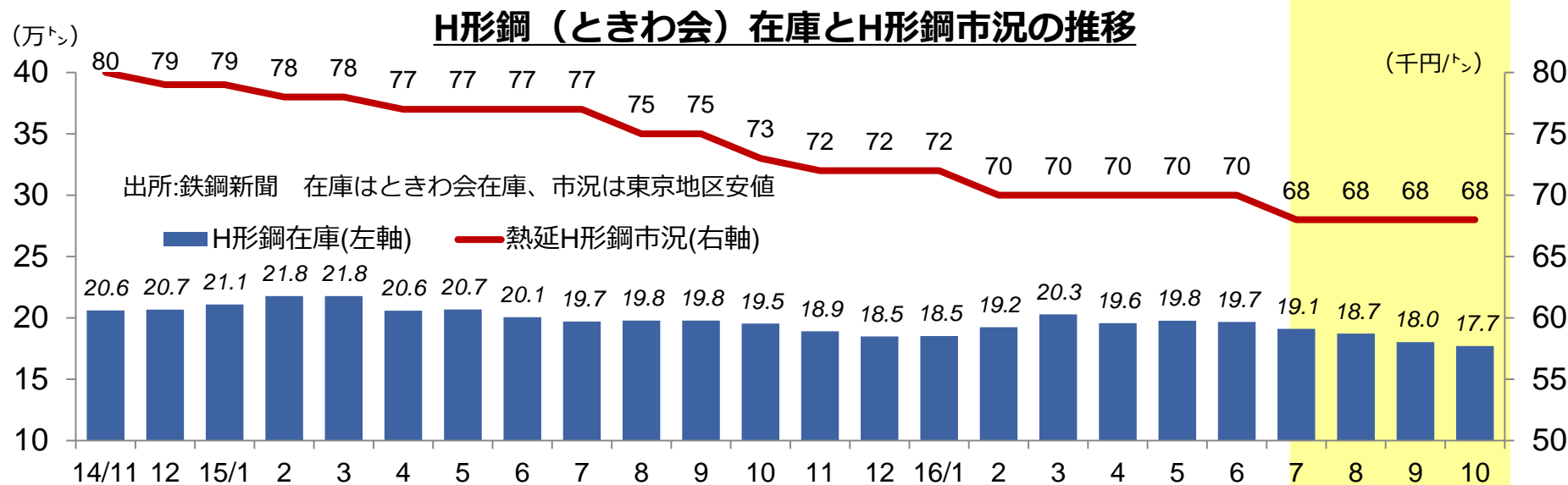
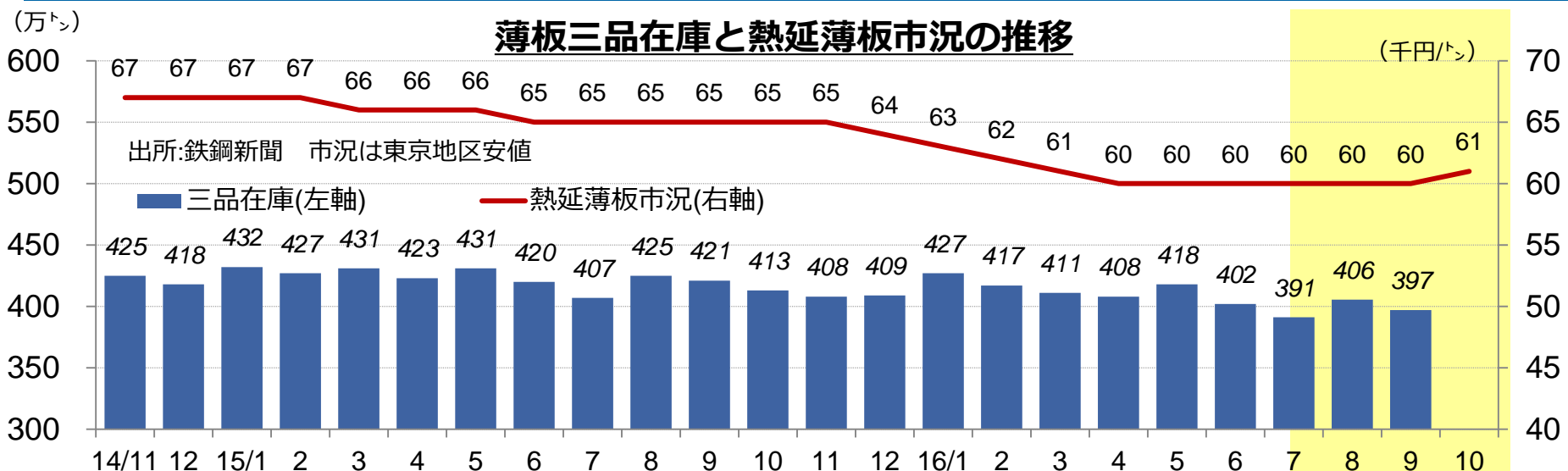
関東鉄源入札価格推移



普通鋼鋼材出荷量推移 (年率)

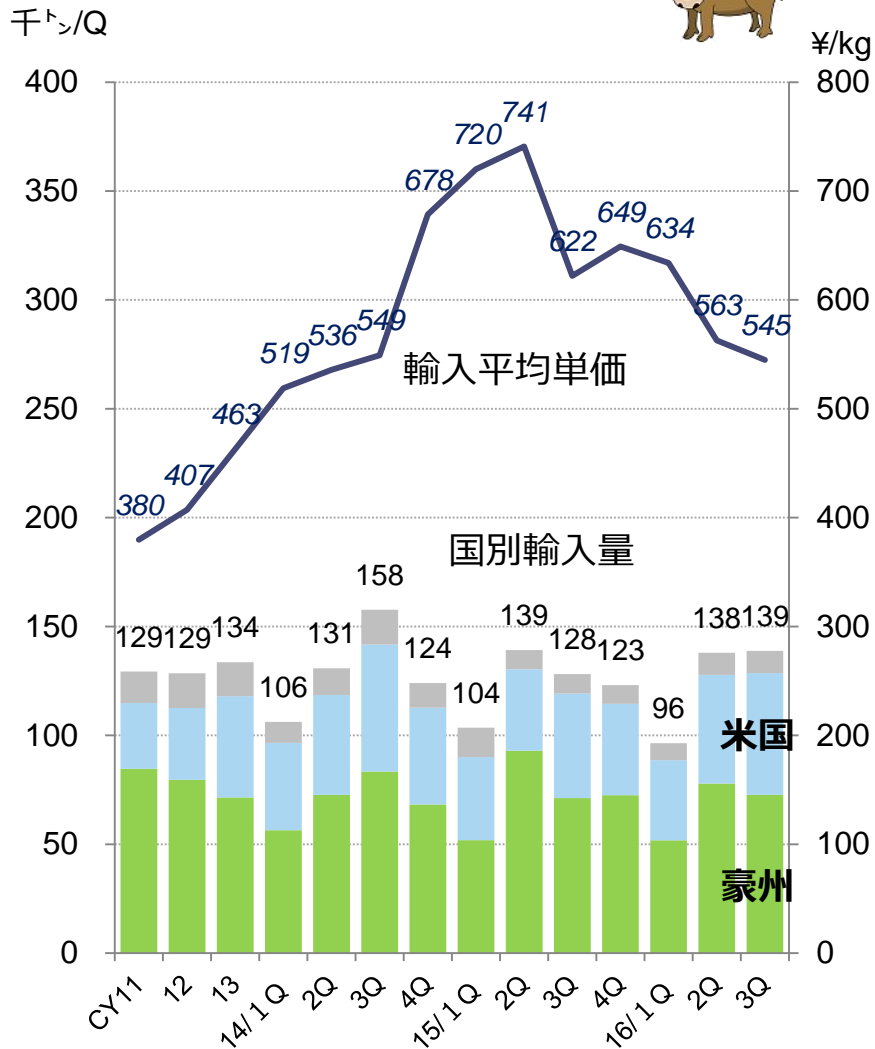


国内鋼材市況の推移



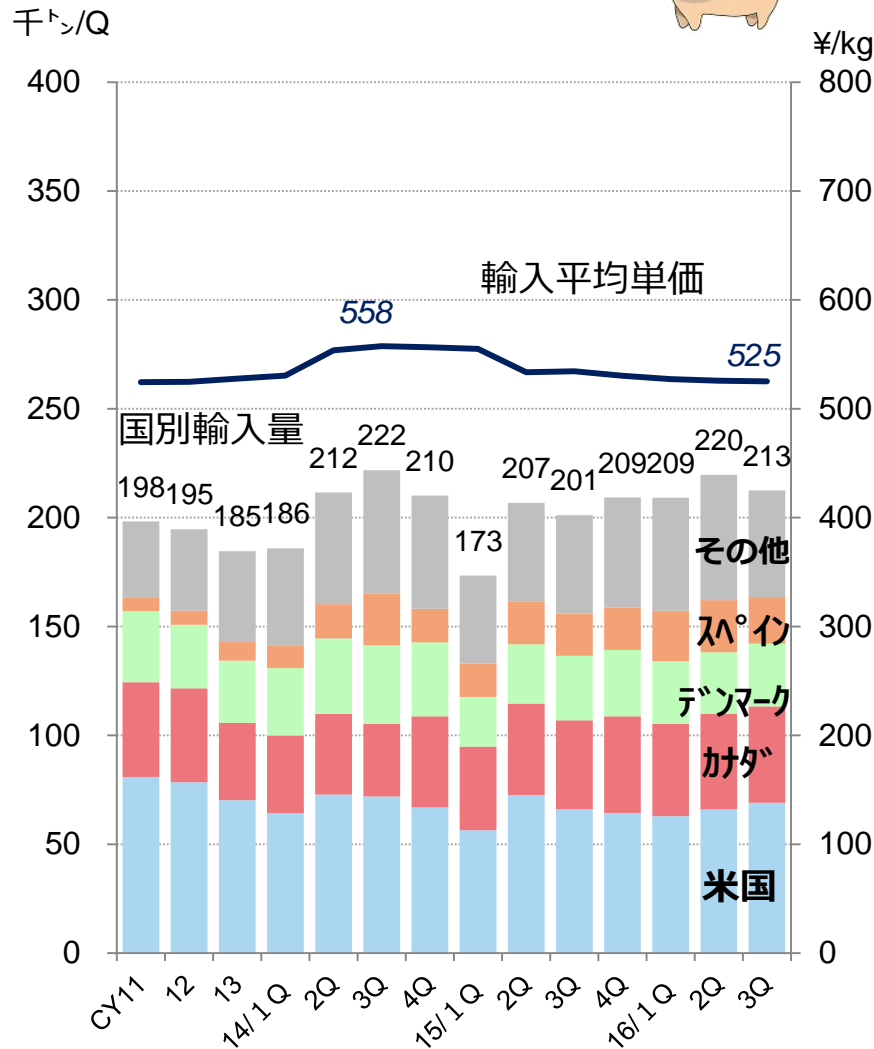
食糧事業関係データ-1

輸入牛肉量及び輸入価格



(出所)通関統計

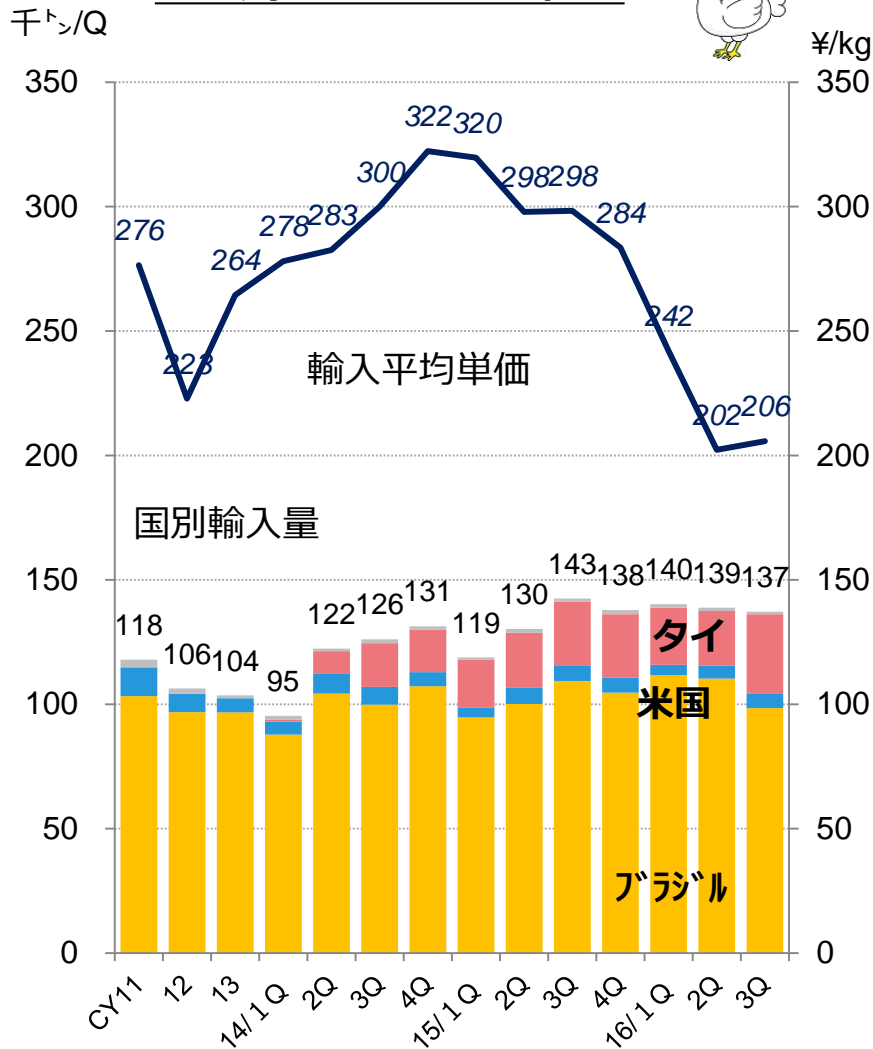
輸入豚肉量及び輸入価格



(出所)通関統計

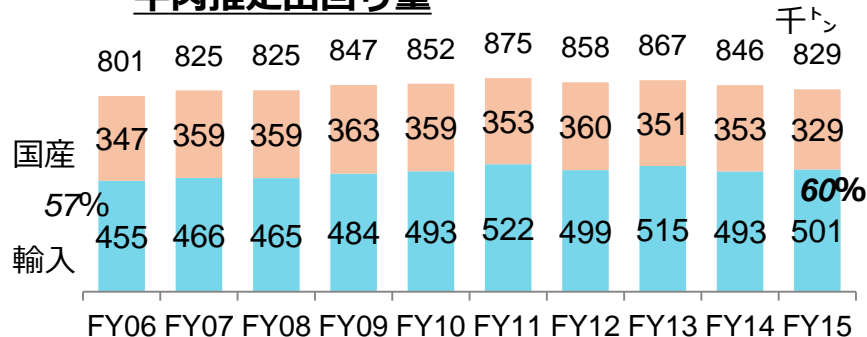
食糧事業関係データ-2

輸入鶏肉量及び輸入価格

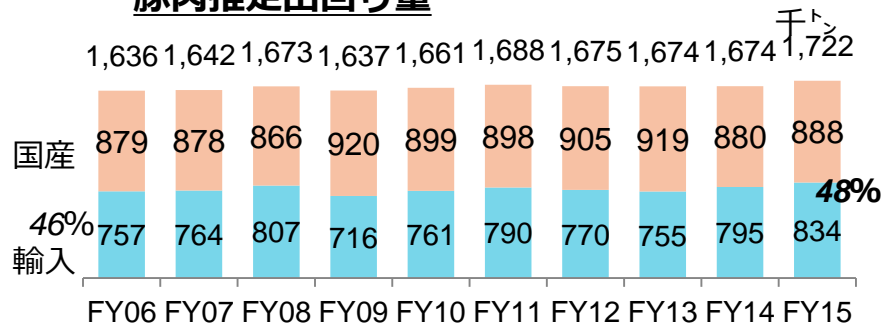


(出所)通関統計

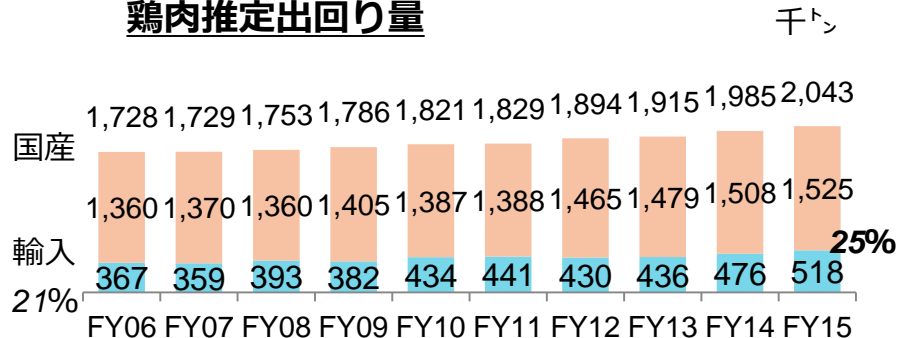
牛肉推定出回り量



豚肉推定出回り量



鶏肉推定出回り量



(出所)農畜産業振興機構

中期経営計画(2015~2017)の概要 < 2015/5月公表 >

主要施策

当社の強みを活かした 成長戦略の推進

鉄鋼シェアアップ
海外取引比率向上

アパレルODM
海外売上拡大

ヘッドレスト事業拡大
タイ工業団地拡張

食糧海外ビジネス
強化・拡大

3カ年投資枠450億円 (+25%)

業界トップクラスの競争力の 維持・強化

安心・安全・
品質の追求

業務基盤
拡充

生産性向上
業務効率化

統合シナジーの発揮

定量目標

2017年度目標 (FY14対比)

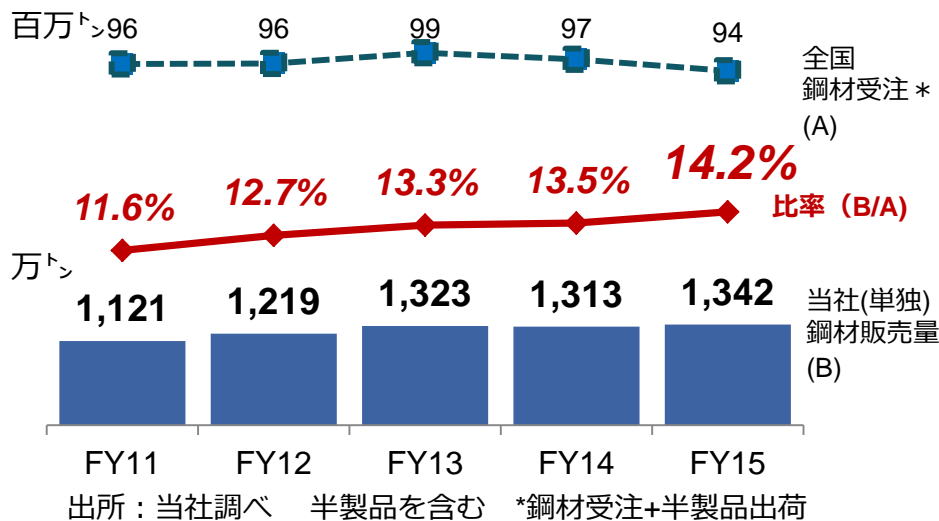
売上高	2兆3,000億円 (+ 9%)
内海外	6,800億円 (+23%)
経常利益	360億円 (+18%)
当期利益	210億円 (+18%)

目標財務体質

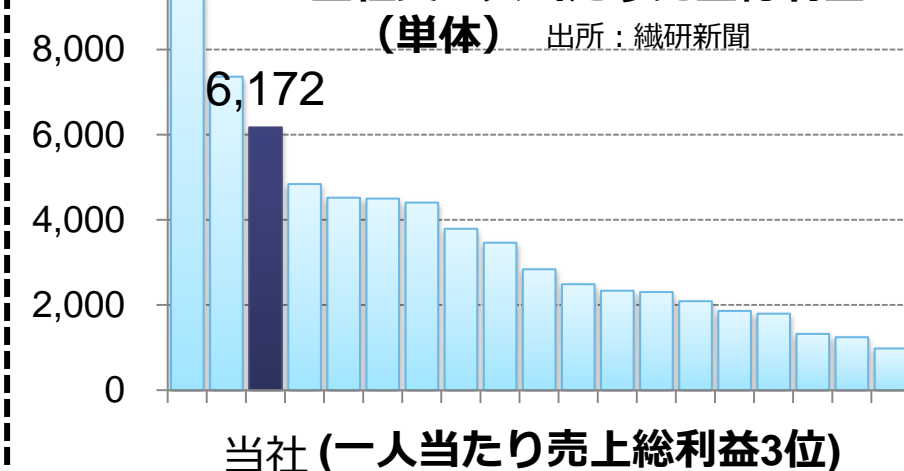
ROE	10% 以上
株主資本	2,000億円 以上
Net DER	1.0 未満
配当性向	25%~30%

当社の強み 業界トップクラスのポジショニング

● 鉄鋼部門（単独）鋼材販売量推移



● 14年度商社繊維部門 正社員一人当たり売上総利益 (単体)



● 車輪・車軸



国内取扱高第2位

● ヘッドレストステー



世界シェア約13%

出所：当社調べ

● 当社の食肉輸入シェア推移

金額ベース

	2013年	2014年	2015年
牛肉	4.3%	5.2%	5.0%
豚肉	6.7%	8.4%	9.3%
鶏肉	8.7%	8.3%	*6.9%

出所：通関統計

*鶏肉市況下落影響緩和の観点から輸入量抑制

日鉄住金物産株式会社企業理念

1. 新たな社会的価値を持った製品、サービスを生み出す
高い志を持った企業グループであり続けます。
2. 信用、信頼を大切にし、お客様と共に発展します。
3. 人を育て人を活かし、人を大切にする企業グループを創ります。

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



日鉄住金物産株式会社

NIPPON STEEL & SUMIKIN BUSSAN CORPORATION